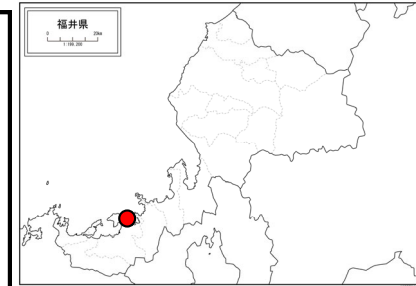


30.【陸域、水域：漁業体験施設】教育旅行実施のための漁業体験施設の整備 ：内外海漁港（福井県小浜市）

概要

- 内外海漁港の阿納地区では、漁村地域の活性化のため交流・体験型観光を可能とした教育旅行への取り組みを開始。
- 教育旅行を実施するため、漁港内の交流施設、防波堤、環境用地、水域を活用して釣り体験、魚のさばき体験を行う体験交流施設「ブルーパーク阿納」を整備。
- 施設への年間来客数は年々増加しており、地域活性化に寄与している。



背景

- ・養殖を含む漁業と民宿を兼ねる「漁家民宿」が多く、平成初期までは順調に利用客が伸びていたが、レジャーニーズの変遷に伴う海水浴客の減少や漁業不振、少子高齢化に伴う後継者不足等の要因が重なり、年々民宿を廃業する件数が増えつつあった。
- ・春と秋に行われることが多い教育旅行に着目し、民宿の新たな宿泊層の開拓と、漁業を活かした地域活性化を図るため、漁港施設を活用した教育旅行の取組を開始した。

有効活用の内容

- ・本来閑散期であった時期における、小中学生の教育旅行や一般客の受入を開始し、新たな入込を確立することで、民宿経営の安定化と平準化を図る。
- ・漁港内での体験実施の他、漁船クルージングや養殖魚餌やり体験、カヤック、梅ジュース作り、塩作り、寺院での座禅体験等の地域内での様々な活動の拠点として活用。

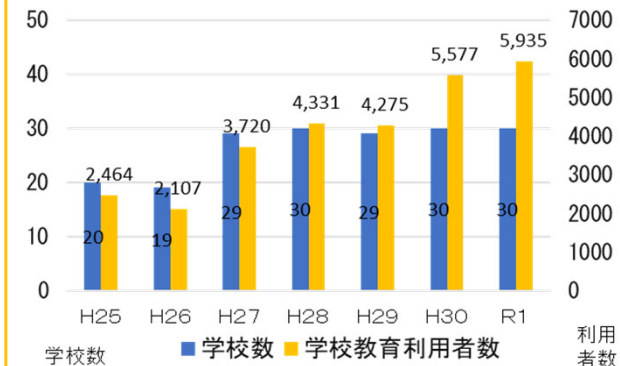
活用した漁港施設	第1種内外海漁港、漁港内の交流施設、防波堤
実施時期	平成19年7月オープン
実施主体	小浜市阿納体験民宿組合
活用した事業	福井県核燃料税交付金
実施した手続き	占用許可

内外海漁港：ブルーパーク阿納



効果

- ・学校教育利用者数は年々増加し、利用者数は5,935人、30校（R1）



- ・地元の民宿の女将や漁師が体験のインストラクターを担当し、地域の雇用確保にも貢献